

ヒラリー・ロダム・クリントン国務長官講演
APEC 女性と経済フォーラムにて
2012年6月29日
(内閣府仮訳)

こんばんは。お招きを光栄に思うとともに、白夜のサンクトペテルブルクのすばらしく壮麗なこのエカテリーナ宮殿に私たちをお迎えくださった今夜の主催者、上院議長にお礼を申し述べさせていただきます。私は個人的に、ワレンチナに心から感謝しています。また、「APEC 女性と経済フォーラム」の開催に向けたロシア政府のあらゆるご尽力にも感謝いたします。そしてこの問題が今後も確実に APEC アジェンダの中心的要素の一つであり続けるよう、来年インドネシアと協力することを楽しみにしております。

当初からこの問題と本フォーラムを優先してきたシンガポールと日本の政府、また APEC アジェンダに参加し、サンフランシスコ宣言で合意した目標の推進に取り組んできた民間部門のパートナーなど、この会合を成功に導くために実に多くの人々が貢献してくださいました。過去から現在に至るまで、力強い女性指導者に恵まれてきたロシアの歴史を振り返ることは、この美しい町、またこのエカテリーナ宮殿では特にふさわしいことに思われます。そして私たちは – (拍手) – これまで力を合わせて成し遂げてきた進歩を祝福する榮譽に浴しています。

ロシアの人々はピョートル大帝以来、サンクトペテルブルクを「西洋への窓」としてのみならず、この宮殿内で私たちを取り巻いているロシアの偉大なる芸術、偉大なる工芸の数々を展示する場所として見なしてきたのではないのでしょうか。しかし、確かにロシアの巨大さを考えれば、この国はあらゆる方角を見つめ、特にアジア太平洋に目を向けています。

ロシアは合衆国と同様に太平洋国家であり、この地域で建設的な役割を果たす機会があります。昨年の7月には ASEAN 地域フォーラムで、この重要な地域における貿易、投資、ビジネスの将来のために両国が協力を深める必要性について、セルゲイ・ラブロフ外務大臣とお話しさせていただきました。私たちは、海上安全保障の強化から、自然災害への対応、核拡散の防止、そしてもちろん女性の権利と機会を高める取り組みに至るまで、あらゆる事柄についてアジア太平洋での共同努力を強化しようとして取り組んできました。そのため、ロシアと合衆国だけでなく、APEC の全パートナーの間でこの対話を継続することを楽しみにしています。

APEC について考えると、そのメンバーには国民経済の規模が世界第一位、二位、三位の国に加えて、この不況下で成長を続けている多くの国々も含まれています。私たちはその多様性にも関わらず、9カ月前にサンフランシスコで成長への共通のビジョ

ンと誓いの下に結束しました。この成長においては、経済への女性の参加拡大に向けて具体的な措置を講じることが、さらなる機会の提供につながるはずです。

昨年、サンフランシスコでご報告申し上げたように、労働人口により多くの女性を取り込むことがイノベーションを促し、生産性を高め、経済を成長させるという証拠がますます増えています。家庭では使えるお金が増え、企業ではその消費者基盤を拡大して利益を増やすことができるようになります。手短かに言えば、女性がもっと全面的に経済に参加するようになれば、あらゆる人々に利益がもたらされることになるのです。

現在人口が高齢化している先進エコノミーでは、女性は新たな仕事や機会の創出に貢献できます。我が国では、女性が所有する企業は国内経済に 3 兆ドル近くを供給し、実際に男性が所有する企業の二倍以上の速度で増加しています。日本では、女性の就労率 60%が男性の 80%に匹敵するようになれば、さらに 800 万人余りの労働者が加わり、日本の GDP を 15%も引き上げることができるでしょう。

APEC のその他の国々でも、女性の起業の増加によって収入が増える一方、不平等が緩和されています。東アジアには、女性が所有する正式な小企業が 600 万件近く存在します。インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナムなどのエコノミーでも、女性が所有する企業が急速に増加し、成長しつつあります。女性は今や、世界の労働力の 40%、世界の農業労働人口の 43%、世界の大学生の半数余りを占めています。したがって当然ながら、女性の経済的な潜在能力を制限することは、あらゆる国にとってテーブルの上にお金を投げ出しておくようなものです。特に経済危機を抜け出して成長しようと苦闘を続けている今日、それは不合理なことなのです。

もっと明確に申し上げます。ご存知のように、女性は依然として障害に直面しています。世界銀行によれば、経済参加を願う女性が男性と異なった法的扱いを受ける国は 100 カ国を超えています。女性が銀行口座を開けず、または契約書に署名できない国もあれば、女性が就ける職業や働ける時間が制限されている国もあります。さらには、女性が世帯主になることや、自分自身や子供のために決定を下すことを認めていない国まであるのです。このような習慣は、女性の経済参加や女性の尊厳と権利を損なう一方で、女性はそのジェンダーによって異なった扱いを受けるべきだという有害な考え方を助長します。たとえ法的な障壁が存在しなくとも、社会的または制度的な制約がしばしば女性たちを抑制しています。合衆国でも、私たちは依然として同一賃金などの問題に取り組んでいます。

サンフランシスコではこうした課題に取り組むことを誓い、資本へのアクセス、市場へのアクセス、能力技能形成、そして女性のリーダーシップという 4 つの重要分野を特定しました。私たちは進歩を遂げつつあります。日本は女性のリーダーシップへの

障壁に取り組む初の地域フォーラムを開催しました。ここサンクトペテルブルクでは、指導的役職への女性の就任を会社の機構がどのように妨げているかを考えるとともに、科学、技術、工学、数学の分野で女性の技能を高める方法を議論しています。

私は本日、資本と市場への女性のアクセス拡大に向けた APEC の 2 つの新たな取り組みを発表します。私たちは第一に、政府がその購買力を利用して女性起業家を援助し、国内経済を成長させられるよう支援したいと考えています。そのため、私たちは女性が所有する企業を調達先にする APEC 地域の各政府の能力を高めるべく、国連国際貿易センター（ITC）と協力しています。

また、大規模な購入者のニーズを満たすための女性起業家の能力向上をどのように援助できるかを、政府が見極められるよう支援していくつもりです。合衆国の上院議員を務めていた時、私は男女双方の小企業の改善に取り組み、彼らが製品を宣伝できるよう支援しました。ある女性は高品質の石鹸を作る零細企業を所有していましたが、大量の注文を受けた時、実際にそれに対応できる人員がいませんでした。私たちが女性のビジネスの改善に手を貸すとしたら、どうやってこのような不足を補い、彼女たちの能力をどうやって高めることができるでしょうか？

私たちは第二に、女性が金融と資本にアクセスできるよう、専門的パートナーと協力してアジア太平洋全域の中央銀行と商業銀行に包摂的な融資方法に関する研修を提供しています。ウエストパック銀行は、借り手として女性に焦点を合わせることでより、2009年の最終収益を25億オーストラリアドルも増加させました。

したがって、私たちはさらに（聞き取り不可）できると考えます。サンフランシスコでの誓いが米州の新たな取り組みをどのように促したかについて、一つ例を挙げたいと思います。現在米州とアジア太平洋には多くの異なった課題がありますが、起業家のニーズは世界中で共通しています。2カ月前の米州サミットでは、女性起業家を支援する官民パートナーシップを形成するためのプログラムに着手しました。ある女性の例をご紹介します。エステファニー・マルトです。彼女の父親は、30年ほど前に自分のトラックでパイナップルの販売を始めました。彼女は現在従業員30人余りの小企業を運営し、新鮮な果物の果肉を地元の食料品店やレストランに納めています。海外に進出しようと考えた彼女は私たちの女性起業プログラムに参加し、ビジネスを拡大できるようビジネス・リーダーへの紹介、研修、取引先を確保するための支援を受けました。次いで資本へのアクセス、冷凍トラックの購入資金が必要となり、彼女はそれも得ることができました。

このように、私たちは人々の意欲を喚起する壮大なアイデアと、個々の成功を支援するごく小さな手順の双方を模索しています。また、エステファニーのような人々と、コココーラやマリOTTなどの大規模な購入者を結び付けています。ご存知のように、

ベトナム、タイ、ココロシア、アジア太平洋全体、そして世界中には彼女のような女性が何百万人も存在します。私たちがなすべきことは先入観にとらわれず、創造的に考え、ビジネスの新たなより良い方法を模索し、女性を確実にテーブルに着かせ続けることなのです。

ご存知のように、それは一晩で成し遂げられることではありません。しかし、サンフランシスコからサンクトペテルブルクに至るわずか一年の間に達成された進歩を、私は心から喜ばしく感じています。私たちはこれからバリへ、そしてその先へと進んでいこうとしています。進歩は可能であり、それは加速されなければなりません。私たちには、個々のあらゆる加盟国で女性が提供できる経済的原動力が必要です。合衆国は皆さんとともに前進しながら、パートナーとして協力し続けていくことをお約束いたします。

どうもありがとうございました。(拍手)